

謝辞

本論文の完成を、スウェーデン王立ルンド大学社会福祉学部の皆様に、また、助言をしてくださいました研究者の方々や聞き取り調査に協力してくださいました皆様、そして、知人の皆様に報告したいと考えております。

Tack så förfärligt mycket!

Speiciellt till,

Högskolelektor Per Gunnar Edebalk

Docent Gunvor Andersson

Byråassistent Birgitta Borafia

本論文をまとめるにあたり、丁寧に指導をしてくださいました中村満紀男先生、篠原吉徳先生、津曲裕次先生、石部元雄先生、小川克正先生、そして、スウェーデンに関する貴重な資料やご助言をくださいました河東田博先生、加瀬進先生、近藤久史先生、二文字理明先生、暖かく見守ってくださいました中司利一先生、福屋靖子先生、藤田和弘先生、池田由紀江先生、心身障害学系の諸先生に深く感謝しております。また、ご助力くださいました趙洪仲さん、阿部崇さん、昼間隆志さんをはじめ研究室の皆様、ありがとうございました。

そして、未熟な私を励まし、辛抱強くご指導してくださいました柳本雄次先生に心からお礼を申し上げます。私が、この論文に取り組み、また、こういった形で、完成させることができましたのは、ひとえに先生のご指導によるものです。最後に、私事ながら、私の家族にこの場をかりて感謝の気持ちを伝えたいと思います。

1998年1月21日 午後1時 研究室にて 石田 祥代